神戸常盤大学同窓会誌
ときわびと
No.36
2021年発行

同窓会会長
岡部 文雄
衛生技術科 21期生

ときわびとの皆様、いかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルス感染拡大で多大な苦難にあわれた皆様にお見舞い申し上げます。また、感染拡大防止でご尽力なさっている関係者の皆様に敬意を表します。

さて、2020 年 1 月 16 日、日本国内で初めて新型コロナウイルス感染患者が報告されて以来、国内外の社会生活、経済活動面で未曾有の大混乱が発生し、緊急事態宣言の発出、予防策の徹底、検査・治療体制強化等様々な対策が講じられていますが、未だ終息の兆しは見えていません。1 日も早い終息を願うものであります。

同窓会の活動でも新型コロナウイルスの影響を受けて事業の中止又は変更を余儀なくされました。定例理事会においては 3 月からメール（書面）による理事会開催に変更し、6 月の総会も中止、卒業式・入学式・健康フェスタ・オープンキャンパス等の行事参加も中止となりました。こうした中でも、4 月に開設した保健科学部診療放射線学科の校舎（8 号館）が完成したという喜ばしいこともありました。

大学側は学生への支援や感染防止対策やオンライン授業のための環境整備など様々な対応を行っており、同窓会としてもこれらの対応に協力すべく支援金の増額をさせていただきました。

今後も同窓会は大学と協力し皆で知恵を出して最善の努力をしていきたいと思います。皆で力を合わせて新型コロナ禍を乗り越えていきましょう。

学校法人玉田学園
理事長
旭　　次郎

昨年、そして今年も多くのことが新型コロナウイルスの影響で例年と異なることを余儀無くされました。遠隔授業が始まり、実習に苦労し、行事も総てが簡素化、縮小、中止となり、対応に苦慮することになりました。学生達、特に希望と期待を持って入学した新入生にとっては可哀想な一年であったろうと思います。しかし学園全体としては教職員の支えや協力、学生達の頑張りや努力により大きな破綻なく終えることが出来ました。

同窓会が結成されて 50 年になります。昨年北海道支部が解消されたと聞き残念に思いました。開学間もない頃は全国の至るところからの出身者が集まっていましたが、現在は比較的近県の出身者が多くをしめるようになっています。世の中の変化で止むを得ぬことかと思いますが、前号の「ときわびと」を読み、殊更残念に思いました。

本年度は学内に、全国の大学にさきがけて登録衛生検査所「神戸常盤大学医科学研究所」を設立し、PCR 検査を始め、諸々の検査を実施することになります。また学内に健康生活研究所（通称「すこラボ」）を設立し、医療 4 学科（検査、看護、口腔、放射線）を横断し協力しあい総合的に人々の健康に取り組むことにしています。

毎年、学園の内外に様々な出来事や変化があります。しかし、校門脇のミモザは今年も変らず見事な花をつけています。（ミモザの花ことばは本学のモットーとする「豊かな感受性」と「思いやり」です。）

神戸常盤大学学長
濵田 道夫

この一年、わがキャンパスもさまざまなかたちでコロナ禍の影響を受けてきました。大学はコロナ以後どう変わっていくのかという将来の見通しが気になるところです。

遠隔授業には教員も学生もだいぶん慣れました。メリットもデメリットもある程度見えてきました。オンラインでは伝えきれない、対面授業特有の場の雰囲気、言葉や説明の柔軟性などが、実はコミュニケーションの大切な要素であることをあらためて感じています。あわてず、じっくりとコロナ以後を描いていきたいと思っています。

キャンパスレポート

診療放射線学科の開設並びに新8号館の竣工

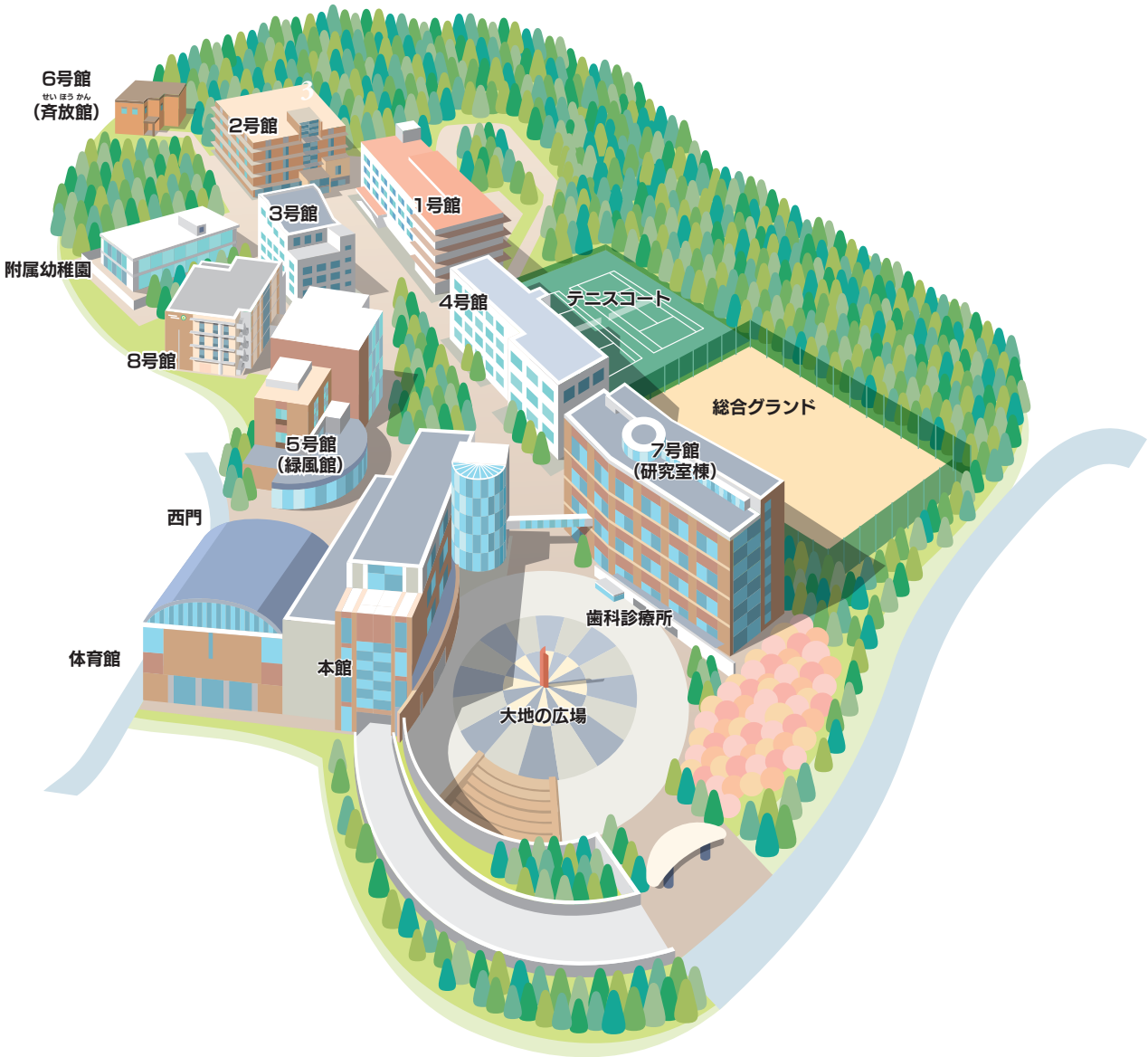
2020 年 4 月、神戸常盤大学は保健科学部に新たに診療放射線学科を開設いたしました。同年 8 月、診療放射線技師の養成に必要な機器や教室などが実装された新棟（8 号館）が竣工致しました。この 8 号館には、X 線撮影装置や CT 撮影装置などが設置された各種演習室のほか、授業外でも学生が自由にパソコンを使用することのできるコンピュータ実習室、数台のモニターや電子黒板を導入した講義室など、本学での学びをより豊かなものとする設備が整っており、見学した当該学科の一期生は、8 号館での学習に胸を躍らせている様子でした。また、8・9 月に実施したオープンキャンパスでは、高校生の皆さんに新棟内を見学していただき、診療放射線技師の仕事や大学での学びをイメージする良い機会となれたのではと感じています。

この 8 号館を新たな力とし、大学教育としての使命を果たすべく鋭意努力して参ります。引き続き皆様からのご指導ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い致します。

保健科学部診療放射線学科　学科長・教授　　松田　正文

かねてから開設準備を進めて参りました診療放射線学科は、学園内外の多くの方々のご支援を得て、予定通り昨年 4 月に開設されました。神戸常盤大学にとりましては、これまでの医療検査学科、看護学科、短期大学部口腔保健学科に加わる、四つ目の医療系学科ということになります。この学科は、放射線を利用したものを含む各種画像診断（X 線撮影、MRI、エコーなど）や癌治療に携わる「診療放射線技師」を育成する学科です。

残念ながら、この一年は、学生諸君も教・職員も、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、忍耐を強いられることになりました。しかし、2021 年度は、コロナウイルスに負けずに、昨年度完成しました新棟（8 号館）を拠点に、第一期生である学生とともに初心を忘れず、特色ある診療放射線学科を育てて行こうと思っています。



すこラボ（健康生活研究所）開設について

令和 3 年 4 月 1 日より「すこラボ（健康生活研究所）」が開設されます。ここでは、食事や運動などの日常生活や習慣が健康保持に及ぼす影響を調査して、その成果を教育や研究に反映させ、併せて地域住民の健康増進に寄与することを目的として活動します。

7 号館 1 階に設置することで、同じフロアーにある「口腔保健研究センター」及び「健康保健センター」とも連携して研究をし、成果等の情報を社会に発信することが予定されています。

ときわびとのつぶやき−正会員−

医療検査学科 7期生　谷口 優仁

ご多分に漏れず、家で過ごす時間が増えた私は映画鑑賞にハマっています。特にクリストファー・ノーラン監督の作品が大のお気に入り。圧倒的なスケールと緻密に考えられたストーリー構成、リアルと虚構の絶妙なバランス、そしてCGではなく実写にこだわる姿勢など、どれをとっても私の大好物。皆様も是非一度ご堪能あれ！

衛生技術科 2期生　酒井 啓子

コロナで始まりコロナで終わりそうな今年、今までの当たり前が当たり前でなくなった今年、広島県尾道市で初めて新型コロナウィルス感染者が出たのは、3月20日で県内2例目でした。いつ感染者が来院するか分からないと院内は緊迫ムードで一杯でした。健康診断のスパイロ検査は一時中止に、入院患者との面会も禁止。例年糖尿病教室を年10回開催していましたが、オンラインでスライド配信となりました。毎日の体温測定はもちろん、昼食時は会話禁止、黙々とお弁当を食べます。当初はマスク不足で1日2枚から2日で1枚になったりしました。

対岸向島から見た尾道千光寺

12月には当院でもCOVID-19抗原検査を入院時の患者様に実施するようになりました。

広島県は連日過去最高の感染者数が続いています。感染する可能性は誰にでもありますが、感染対策を徹底し、新型コロナウィルスに感染しないように気を付けましょう！（2020年12月）

衛生技術科 11期生　黒川 龍美

定年も気がついたら2年目になり、しかしまだ未練たらしく仕事をしている。

しかし、時間は、やたらたっぷりで、前々からコツコツしていた、陶器や木工、蕎麦打ちにと励んでいる。

オリジナル家具といえば聞こえはいいが、少々歪んでいても、蕎麦なんか少々短くとも気にしない。しかし道具にだけは絶対拘る。

「仕事が生きがい」もいいが、これはこれで楽しい。

衛生技術科 11期生　三島 冨未

昨年の大晦日の朝、雪が積もったので、雪だるまを作りました。

以前、雪だるまを作ったのは、子供たちがまだ小学生の頃なので、20数年ぶりに雪を触ったことになります。久しぶりに触る雪は、手がかじかむ程、冷たかったですが時間を忘れるほど夢中で作っていました。

コロナ感染拡大で子供たちは帰省を控えていたため、子供たちには会えませんでしたが、昔の出来事を思い出しながらゆっくり過ごす夫婦2人の年末年始もよいなと感じた次第でした。

衛生技術科 37期生　河野 有佳子

初、ケーキづくり

今年はおうち時間でプリンケーキに初挑戦しました！！！

なかなか普段はお菓子を作らないので道具がなく、菜箸2膳を握りしめてプリン液とスポンジを混ぜ、ザルでこして、ホーロー鍋で焼き上げました。翌日筋肉痛になりましたが、プリン、スポンジがちゃんと二層になって満足な仕上がりになりました。

甘さ控えめなので、ペロリといけちゃいますが卵が8個入ってるので危険なケーキです。笑

医療検査学科（2020年3月卒）　畠山 大樹

もうすぐ就職して１年がたちます。様々なご縁があり、私はやりたかった微生物検査をやらせてもらえることとなり、大変なことも多いですが、とてもやりがいを感じています。

特に PCR 法や LAMP 法などの核酸増幅検査も１年目から担当させてもらっています。

とても貴重な経験になっており、この経験を今後の臨床検査技師としての人生に活かしていきたいです。

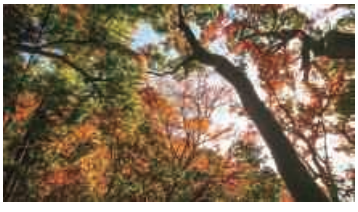
また今は自粛などであまり外出などはできない状況ですが、新型コロナウィルスが落ち着いたら友達と旅行に行ったり、趣味の野球観戦をしたりとプライベートも満喫できるようにしていきたいと思っています！

看護学科（2020年3月卒）　大藤 圭織

１年目看護師として新社会人生活がスタートし、早 10 カ月が過ぎました。仕事では先輩方や同期からのたくさんの刺激を受けながら、貴重な体験をたくさんさせていただいています。

プライベートでは、コロナ禍でこれまでと同じように友人と出かけるという機会は減りましたが、ずっと欲しかった車を入職後すぐに購入し、今では一人でも長距離ドライブをして、自然に触れたり初めての場所を訪れたりして楽しんでいます。これからも仕事もプライベートも充実させながら頑張っていきたいです。

医療検査学科（2020年3月卒）　石井 佳織



大学を卒業してからもうすぐ１年が経ちます。この１年はコロナに振り回され不安でいっぱいの毎日でした。そんな中私はもともと趣味だった映画館に行くことが難しくなり、新しく山登りに挑戦してみました。本格的なものではないのですが山の香りに囲まれ、自然を感じながら歩く道はわくわくしてとても楽しいです！ロープにしがみついて岩場を登ったり、道に迷ったり、葉っぱで転んだり…アクシデントはいっぱいですが苦労して辿り着いた頂上からの景色はとてもきれいです。今回家から歩いて行けるところにハイキングにぴったりな山が沢山あることを知ったので、また新しい山にもチャレンジしてみようと思います。他にもこんな時だからこそ、今できる範囲で新しく始められることを見つけていきたいです。

口腔保健学科（2020年3月卒）　生尾 梨紗

卒業してもうすぐ１年が経ちます。コロナ禍で渡航がままならない中、学生時代に参加したシカゴでの海外研修を振り返っていました。

現地の方々と交流し、学んだことはたくさんありましたが、1番の思い出は台風の影響で成田空港で一泊したことかなと思います。海外研修が終わり疲れている中、みんなで連絡を取り合い食料や寝袋を調達し、貴重品を取られないようにと全員で荷物を囲むように寝床を作りました。不安ながらも心強い仲間がいてくれたあの思い出は、これから経験しようにもできない貴重なものだったと思います。

“つぶやき”原稿の募集

毎号、設けているコーナーです。会員の皆様からのメッセージを掲載し、懐かしいお名前を見付けて、旧友を思い出したり学生時代を偲んだりして頂けるのではないかと思っています。趣味や娯楽のこと、日々ふと気づいたこと等、何でも気軽に投稿して下さい。写真を添えて頂くとより嬉しいです。(約 200 字程度)

※時期を問わず、同窓会事務局に郵送、電子メール、ファックス等でお送り下さい。

ときわびとのつぶやき－準会員・特別会員－

教育学部こども教育学科4年　新保 ひかり

「必ず神戸の先生になる」と心に決めて大学に入学してからあっという間に 4 年。しかし学生最後の 1 年は新型コロナウイルスの影響でなかなか大学に行けず、友人と会えない日々が続きました。そんな中、教員採用試験に向け勉強や苦手な面接の対策に取り組んできました。試験の内容もコロナの影響で変更点が多数あり、例年通りにはいかない状況でした。それでも諦めず同じ夢を持った仲間たちと切磋琢磨し困難を乗り越え、「神戸市の採用試験合格」を掴み取りました。

先行き不透明なコロナ禍はまだまだ続きそうですが、いつか「コロナの時代もあったね」と懐かしめる日が 1 日も早く来ることを期待しながら「先生」としての日々を懸命に生きていきます。

大学祭実行委員長　教育学部こども教育学科2年　小河 輝

10 月 24 日（土）に「Tokiwacci Music Festival ～コロナに負けない常盤祭～」をテーマに第 54 回常盤祭を開催しました。コロナ禍ではありますが、学生は、日頃から勉学に励みつつ、充実したキャンパスライフを楽しんでいます。今年度の常盤祭は、コロナウイルスの影響により学内の学生のみの参加とし、マスクの着用やアルコール消毒の徹底を心がけての開催となりました。常盤祭スタッフ一同は、先輩方の意志を継ぎ、各々の力を発揮するべく何度も打ち合わせを重ねました。一日だけの開催となりましたが、安心して楽しめる時間・空間の提供と、コロナウイルスを忘れて楽しめる時間を共有できたと思います。同窓会からも毎年支援をいただき、常盤祭が開催できていることに厚く御礼を申し上げます。次年度の第 55 回常盤祭は、同窓生も含めて楽しめる常盤祭が開催できることを願っています。

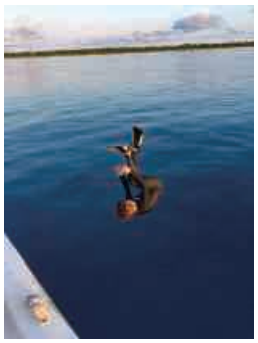
保健科学部看護学科　准教授　黒野 利佐子

脇が甘いとぐらつく!?　体の使い方一つで心も変わる!?

昨春、コロナ自粛で通勤しなくなった分運動量が落ちてランニングの速度が減速した。練習の頻度を増やすと、体が軽くなるどころか、どんどん乳酸が蓄積して重くなる。

マッサージ通いを始めたが、ある施術師に運動前後の体操を勧められ、素直に導入してみた。あら不思議、運動の頻度を減らしても体調が整う、スピードも以前とほぼ同じ程度に回復してきた。運動前に血流を良くして、後に乳酸の蓄積を防ぐ事による効果だ。最近はトモキンというユーチューバーの水泳指導に入れ込んでいる。効率よく泳ぐコツの伝授が素晴らしく、ブランクがあいても疲れず泳げる。それで今更気づいたことがある。水泳でもランでも、脇を緩めてしまうと、重心がぐらつき、推進力を落としてしまう。

最近コロナの誤謬に満ちた過剰報道で、息もしづらい風潮の中、軽く肩を落として緊張をとり、両腕を大きく振ってみよう。しっかり呼吸ができて気分まで爽快になれること請け合い！



コロナ禍のなかで

学長　濵田 道夫

2020年6月発行　神戸常盤大学キャンパスレポートNo.61より抜粋

この春先に始まった新型コロナウイルスの感染拡大は、あっという間に地球全体を覆いつくしてしまいました。グローバル化が人間の生活に、これほどまでの災禍をもたらすとは誰も予想しなかったのではないでしょうか。感染の不安と恐怖にかられ、将来を憂える日々が続きました。グローバル化の影の部分、格差の拡大や地域社会の疲弊は日頃から事あるごとに指摘されてはいましたが、今回の悲惨なコロナ禍のなかでそれが一層鋭く浮き彫りにされたという思いです。

この間、本学も含め大学は感染防止対策でむずかしい判断を何度も強いられました。3 日に 1 回対策会議を開いた大学もあったと聞いています。基本は、学生、教職員への感染防止を講じながら教育をどう続けていくかということです。本学は保健科学部を擁しているので専門家の意見を聞くことができ、この点は幸いだったと思います。本学では 4 月中旬から必修科目を中心に試行的にオンライン授業を開始し、5 月の連休明けから本格実施に移りました。6 月に入ってからは、対面授業とオンライン授業を並行して実施しています。保健科学部、教育学部、短期大学部、いずれも実技指導を含む授業があり、これらを中心に感染防止対策を講じながら対面での授業が行われています。

学生諸君はキャンパスに入れない日々が続き、とくに新入生の皆さんは、せっかく入学したのにその実感も得られず、不安と焦りの時期を過ごされたのではないでしょうか。新設の診療放射線学科の新入生の皆さんは、1 期生ということもあり、その点、並々ならぬものがあったかと思います。ウイルス感染拡大の折とはいえ、大学として学生の皆さんの期待に十分にこたえられなかった点は反省しなければなりません。失われた時間、大学にとっては教育を、学生諸君にとっては学びをこれから着実に取り返していきたいと考えています。本当の意味での学びの質保証は、大学と学生諸君との信頼関係のうえに築かれていくものと確信しています。

今後もコロナ禍のなかで大学が取り組むべき課題はいくつもありますが、その一つに経済的に困窮した学生諸君への支援があります。これについては文部科学省が緊急の支援策を検討し、6 月から申請の受付を始めていますが、支援としては十分とはいえません。コロナ禍のなかで学生のアルバイト先が休業を余儀なくされ、休業要請が解除されてからも以前の状態にいつになったら戻るのかまったくわかりません。学業を続けられなくなる学生を一人も出してはなりません。国からの支援にまかせるだけでなく、本学としても積極的な支援に取り組んでまいります。

国家試験の合格率と就職率の情報

■ 令和2年度就職状況（R3.3.31現在）

	卒業生数	就職希望者数	内定者数	内定率(%)	
医療検査学科	72	72	67	93.1	
看護学科	78	76	76	100	進学者3名含む
こども教育学科	84	82	75	91.5	
口腔保健学科	64	63	58	92.1	進学者2名含む

■ 令和2年度国家試験合格率

	受験者	合格者数	合格率(%)	全国平均(%)
臨床検査技師	72	69	95.8	80.2
看護師	77	76	98.7	90.4
保健師	22	22	100	94.3
歯科衛生士	63	59	93.7	93
看護学科通信制課程	124	96	77.4	81.4(新卒平均)

同窓会開催補助のお知らせ

同窓会本部では、同期会や学部、学科、クラスまたクラブや同好会などの同窓会開催を支援しています。詳しくは同窓会ホームページをご覧頂くか、同窓会事務局にお問い合わせ下さい。

新型コロナ終息後には、是非、集まりを計画して頂き、旧交を温めて下さい。

同窓会事務局の移動について

令和 3 年度より、現在の 7 号館 1 階から 4 号館 1 階 4102 室へ移りました。

お知らせ

令和3年度同窓会総会は、新型コロナウイルス感染予防のため中止といたします。
令和3年度予算は、総会の承認を得ることなく執行されますことをご了承ください。

令和2年度 神戸常盤大学 同窓会 収支報告書

一般会計

■ 収入の部

		令和2年度予算	令和2年度決算	差引額	備　考
前年度繰越金		10,115,678	10,115,678	0	
会費収入	同窓会会費	8,000,000	8,550,000	550,000	2万円×425人+通信生5名
	受取利息	1,000	684	△ 316	
雑収入	特別会計より繰入等	0	450,356	450,356	備品購入積立から
収入合計		18,116,678	19,116,718	1,000,040	

■ 支出の部

		令和2年度予算	令和2年度決算	差引額	備　考
本部費	小　計	6,400,000	4,791,998	1,608,002	
	会議費	300,000	1,086	298,914	お茶等
	総会費	300,000	0	300,000	新型コロナの為開催せず
	旅費交通費	500,000	100,200	399,800	交通費
	通信運搬費	250,000	63,019	186,981	役員通信経費含む
	印刷製本費	400,000	406,670	△ 6,670	ときわびと印刷、封筒印刷
	事務消耗品費	100,000	13,253	86,747	事務用品、トナー代等
	渉外費	1,650,000	2,165,900	△ 515,900	学舎新設祝い等
	諸謝金	600,000	438,010	161,990	事務局員給与等
	地域福祉活動費	200,000	0	200,000	オープンキャンパス・大学祭等参加なし
	情報通信網構築費	0	0	0	R2年度から通信運搬費に入れる
	名簿整備費	1,050,000	1,068,590	△ 18,590	ときわびと発行費
	福利慶弔費	100,000	0	100,000	
	備品修繕費	100,000	450,356	△ 350,356	同窓会室移転用備品購入
	会費返金費	300,000	70,000	230,000	
	雑費	20,000	14,914	5,086	お茶等
	予備費	30,000	0	30,000	
	同窓会開催補助費	500,000	0	500,000	クラス会等助成（コロナ感染拡大のため開催されず）
補助事業	小　計	2,200,000	2,050,000	150,000	
	国際交流事業費	1,000,000	500,000	500,000	大学へ寄付（ネパール派遣中止）
	地域交流事業費	500,000	500,000	0	大学へ寄付
	修学支援奨学金	500,000	1,000,000	△ 500,000	大学へ寄付（新型コロナ支援）
	大学祭補助金	200,000	50,000	150,000	学生自治会へ寄付
積立費	小　計	2,200,000	2,200,000	0	
	記念事業積立	2,000,000	2,000,000	0	特別会計へ積立
	備品購入積立	200,000	200,000	0	特別会計へ積立
支出合計		15,800,000	9,041,998	6,758,002	

収支の部　　収入額　¥19,116,718　　支出額　¥9,041,998
次年度繰越金　¥10,074,720

令和3年度 神戸常盤大学 同窓会 一般会計予算案

一般会計

■ 収入の部

		令和2年度予算	令和3年度予算	差引額	備　考
前年度繰越金		10,115,678	10,074,720	△ 40,958	
会費収入	同窓会会費	8,000,000	8,500,000	500,000	2万円×通学生+1万円×通信生
	受取利息	1,000	1,000	0	
雑収入		0	0	0	特別会計からの繰り入れ金等なし
収入合計		18,116,678	18,575,720	459,042	

■ 支出の部

		令和2年度予算	令和3年度予算	差引額	備　考
本部費	小　計	6,400,000	5,200,000	△ 1,200,000	
	会議費	300,000	300,000	0	御弁当等
	総会費	300,000	0	△ 300,000	R3年度は中止
	旅費交通費	500,000	500,000	0	交通費
	通信運搬費	250,000	250,000	0	
	印刷製本費	400,000	450,000	50,000	ときわびと発行、増部のため
	事務消耗品費	100,000	100,000	0	事務用品、トナー代等
	渉外費	1,650,000	650,000	△ 1,000,000	
	諸謝金	600,000	600,000	0	事務局員給与等
	地域福祉活動費	200,000	200,000	0	オープンキャンパス・大学祭等
	情報通信網構築費	0	0	0	R2年度から通信運搬費に変更
	名簿整備・慶弔紙発行費	1,050,000	1,100,000	50,000	ときわびと発行、増部のため
	福利慶弔費	100,000	100,000	0	
	備品修繕費	100,000	100,000	0	
	会費返金費	300,000	300,000	0	
	雑費	20,000	20,000	0	
	予備費	30,000	30,000	0	
	同窓会開催補助費	500,000	500,000	0	クラス会等助成
補助事業	小　計	2,200,000	2,200,000	0	
	国際交流事業費	1,000,000	500,000	△ 500,000	ネパール派遣費なし
	地域交流事業費	500,000	500,000	0	
	修学支援奨学金	500,000	1,000,000	500,000	新型コロナ支援
	大学祭補助金	200,000	200,000	0	
積立費	小　計	2,200,000	400,000	△ 1,800,000	
	記念事業積立	2,000,000	200,000	△ 1,800,000	記念事業の補填なし
	備品購入積立	200,000	200,000	0	
定期預金		5,000,000	5,000,000	0	
支出合計		15,800,000	12,800,000	△ 3,000,000	
次年度繰越金		2,316,678	5,775,720	3,459,042	

「監査報告：会計監査について、収支報告書・諸帳簿・預金通帳及び関係書類について監査を行った結果、その内容が適切かつ経理事務が正確であり、内容が詳細に整備されていることを認めます。／監事」

編集後記

新型コロナの発生から一年以上が経ち、世界中の人々がそれまでにない経験をすることになりました。閉塞感に苦しむ中でも、“新しい生活様式”という言葉でも言われるように例えば日本では遅れていたデジタル化が大きく進むなど、この中だからこそ見えてきたことから国や企業、コミュニティー、各家庭の在り方が見直され次に進もうとしているように感じます。しかし、とにかく早く終息して欲しいと願うばかりです。

本号は“母校との繋がりを色濃く出す”構成を考えました。発端はこの新型コロナ禍の中で、学生に対する教育の保障や学生の生活を守ろうとする大学の思いを同窓会員の皆様にもお伝えしたかったことがあります。また、この状況下で新たな学科をスタートさせ、発展する母校の姿を共に喜び合いたいという思いです。

そして母校との繋がりをということでは、これまでになかった特別会員である大学の教職員の方々、準会員である学生の皆さんからも寄稿して頂きました。そして、正会員でもフレッシュな新会員の方々にも執筆頂きました。

〒653-0838 神戸市長田区大谷町2-6-2
神戸常盤大学内　火・金の13～16時のみ開室
TEL/FAX（078）642-0625
E-Mail：dousou@kobe-tokiwa.ac.jp

同窓会ホームページアドレス
http://www.tokiwabito.com/
神戸常盤大学ホームページアドレス
http://www.kobe-tokiwa.ac.jp/univ/

発行所／神戸常盤大学同窓会　　責任者／岡部 文雄　　2021.3.31（第36号）